

金属製網ふるい

金属製網ふるいとは？

ver1.0.E002

食品、製薬、化粧品、化学工業製品など様々な分野において、原料、中間製品又は最終製品となる粉粒体状物質のふるい分けが行われています。

金属製網ふるい(JIS Z8801-1)の規格は一般的な織金網(JIS G3555)の規格より厳しく、測定投影機を用いて網目形状や目開きを測定しその規格内にある事を確認します。

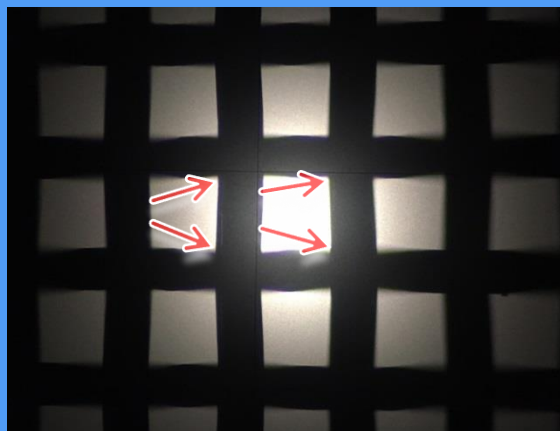
織金網の特性と目開きや形状

一般的な織金網の網目を拡大して見ると真四角型でないものもあります。

金網製網工程では縦線に適度なテンションが必要となります。しかし、過度なテンションがかかると金属製網ふるいで最も大切な目開き寸法や形状が変化してしまいます。

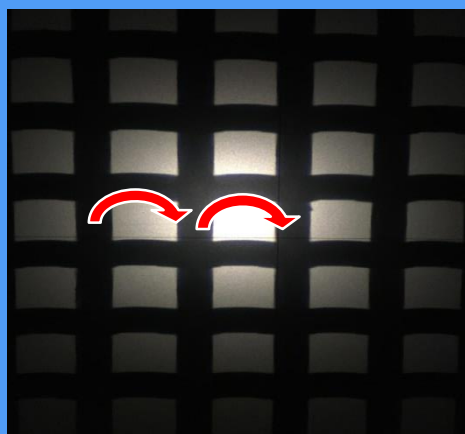
画像①

網目の形状が台形 ×



画像②

網目の形状がアーチ型 ×



お客様の声



「空間形状が崩れていては精度が保たれない！」
「ふるい工程後の製品にバラツキがある！」

1 空間形状の見直し

当初、私達が製作した金網を測定投影機で拡大して見ると、形状は画像①や画像②のような、いびつな台形やアーチ型で精度にバラツキがある原因と思われました。

改善!!

過度な縦線へのテンションを適正に調整し、真四角な形状を生み出す製法を確立しました。

2 線径の見直し

測定投影機で線径の太さを計測しました。織金網特有の縦線へのテンションの影響で線径が細くなり、目開き寸法が規格から外れるものが見られました。

改善!!

縦線にかかるテンションも考慮し、縦線径・横線径をミクロン単位で独自に選定しました。それにより精度の高い目開き寸法が形成されました。規格毎のノウハウも蓄積されています。

『結果』

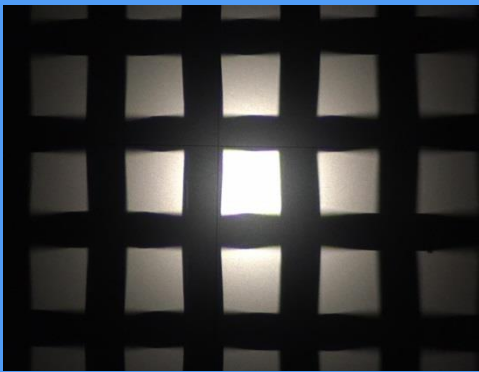
以上の様な取り組みの結果、

「真四角な空間形状」

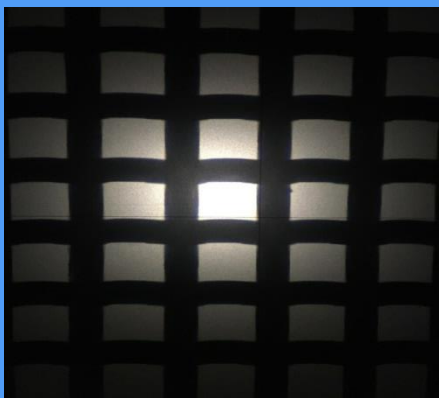
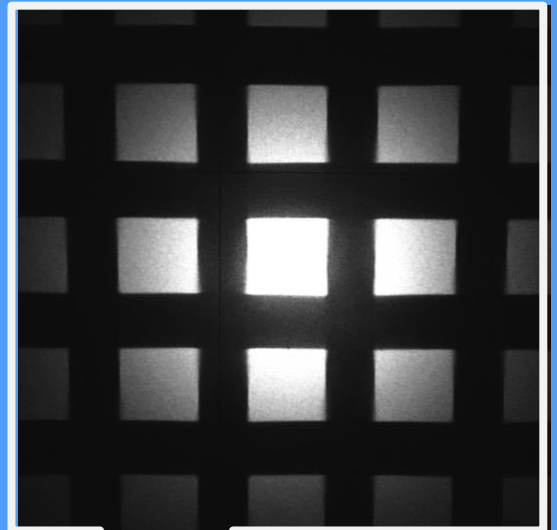
「精度の高い空間サイズ」をもった金属製網ふるいを実現しました。

多数ある規格にも八尾金網製作所独自のノウハウでお客様に喜ばれる精度の高い金網をご提供できるようになりました。

網目の形状が台形 ×



網目の形状が真四角 ○



網目の形状がアーチ型 ×

